



研修農場新聞

2面拡大号

(公財) 農林水産振興財団
八王子研修農場
(発行責任者)
農場長 小寺孝治
(無料)

研修生は、この夏の暑さや9月の長雨等とも向き合いながら、研修農場での実習や各種講義、農家派遣研修など、新規就農に向けて日々熱心に研鑽を重ねている。

基本技術+αもしものを考えた対応も

今年の7、8月のような高温・少雨・ゲリラ豪雨、そして9月の長雨の気象を踏まえると、野菜農家の経営力で重要なのは「作る力」に加え、環境変化への対応力だと思ふ。そのためには、日頃から気象や消費者ニーズ等の変化に気づき、毎年少しずつでも改善していくことだ。具体的には、品種の選択や新品目、新資材の導入、販路の開拓、商品規格の見直し、こまめな情報発信等に取り組むことだ。ちなみに、アカデミーでは、高温・乾燥や長雨による日照不足などに対して数種のBS資材等の活用や溝切り・排水対策、新たな販路への出荷等も行っている。

猛暑・ゲリラ豪雨・長雨等の経験を忘れないで！

気候変動に対応した経営判断は重要

9月のような長雨では、本来すべき作業があつても畑に入れないことも多い。そのため、天気予報や実際の

研修生の今

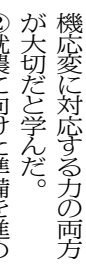
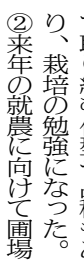
研修生に、この間の感想等を語ってもらつたので一部を紹介したい。質問①感想等、②今後自分で力を入れてやるべきことなど。

第6期生の感想など

石谷さん…①失敗が積み重なって中々後悔していることもある。それは、多品目栽培に取り組んでしまった

ことだ。毎年、異常気象によって栽培環境が変わつていくことを考慮して、様々な品目を作付けた。しかし経営の主軸に考えているキャベツの品質調査等に時間を費やせなかったことが一番の後悔。②就農まで残り半年。抱負はただ一つ、おいしくて、見た目も良い野菜が作れるよう日夜励んでいきたい。

立山さん…①今年は昨年とは違い梅雨があつたため、雨の時期特有の成育不良や病害虫が発生した。はじめに取り組む作型や品種もあり、栽培の勉強になった。②来年の就農に向けて圃場の管理整備、販路の開拓、秋以降も栽培技術の習得、販路の開拓を進めていく。2年目のハウスイチゴ栽培で、今年は新しい2品種を導入しており結果が楽しみです。



澤田さん…①去年より暑さは優しく感じたが雨の日がとて多く、防除や追肥などの作業が思うように出来なかつた。②アカデミー内で管理している圃場を綺麗に保ちながら派遣研修に行き、就農予定地の青梅市の農家さんとの交友をより深めていきたい。

安留さん…①昨年と今年では気候が全く異なり、同じようには栽培できないことを実感した。事前に計画を立てるこの重要性と、天候や生育状況に合わせて臨機応変に対応する力の両方が大切だと学んだ。②就農に向けた準備を進めるとともに、これからは地域との関わりにも力を入れたい。地域の方や農家の方とのつながりを大切に、地域に根差した農業ができるよう、自分から積極的に行動し



ていきたい。

第7期生の感想など

石川さん…①茨城県への視察では他産地の環境や栽培技術に触れられる貴重な機会でした。軽トラへの管理機の積み方やロープ掛けなど、日々の細かな実践が就農後に活きたと実感し、親身に指導してくださる指導員の方々に感謝している。②病害虫を早期に見出し、自分で対策を考えて対応できる知識と技術を身につけていきたい。秋野菜の栽培管理を徹底し、教わった技術や知識を確実に自分のものにしていきたい。

喜久山さん…①茨城県への視察研修やアカデミー先輩方の圃場見学では、持続

大友さん…①昨年の猛暑



7～9月の主な出来事

(7月)

- ・9日 農機資材展、9日 直売、13～17日 都庁ランチ野菜活用
- ・14日 職員課視察、15～16日 茨城視察、18日 就農ツアー
- ・22日 調布市視察、24日 直売、28日 就農支援会議、30日 主計部視察
- ・フードバンク提供 3、6、8、10、13、17、22、24、27、31日

(8月)

- ・3日 理事長視察、5日 町田市就農計画説明、6日 直売
- ・12日 東八王子市就農計画説明、17日 あきる野市就農計画説明
- ・24日 多摩青果視察、26日 町田市就農計画説明
- ・フードバンク提供 3、5、7、10、14、17、21、24、26、31日

(9月)

- ・1日 研修生募集プレス、3日 卒業生農地見学、立川農家対談
- ・7日 小平農家挨拶、9日 地権者挨拶、10日 武蔵小山農家対談
- ・12、18、30日 学説説明会、23日 新農業人フェア、25日 都立大生受入
- ・フードバンク提供 4、7、9、11、14、18、24、25、28日

性、攻めの姿勢、栽培技術や経営手腕など、学びが多くとても参考になった。就農後の自身の作付計画に役立てたい。

②農業機械を使用する時と農薬を作る時が一番緊張します。幅広い分野の専門講義も充実しており現状満足で終わらず農作業同様復習を重ねて成長に繋げたい。

城さん：①栽培の難しさに向き合う日々の中、植物はこちらの働きかけに期待通りに応えてくれることもあれば、そうでないこともある。小さな変化を読み取る難しさと、応えてくれた時の喜び、その両方を味わいながら楽しく学んでいる。

②まずは作物を育てる確かな技術を身につけたい。そして、作物の声なき声に耳を澄ませながら、天候や環境の変化を読み、その時々最善の一手を選ぶ農業者になれるよう頑張りたい。

竹内さん：①数十種類の野菜を育てる中で、その時々天候や野菜の状態に応じて「今が必要か」ということを考えながら段取り良く農作業を行うことの大切さと難しさを知り、自分の



未熟さを痛感した。②今は一人で栽培管理ができるか不安だが、一年生のうちに栽培に関する知識や技術を一つでも多く身につけて、そして少しずつ自分の経営計画も形にしていきたい。

以上、研修生の感想等を紹介した。研修生はそれぞれ課題や不安を抱えながらも前向きに取り組んでいる。今後も関係部署や農家さん等の協力も得ながら、一歩ずつ着実に就農できるよう支援していきたい。



これまでの天候

八王子では、7月の気温は平年より約1.5℃高く記録的な猛暑と少雨であった。8月も気温は平年より高く、猛暑と局地的豪雨が交互に発生。9月は秋雨前線の影響で曇雨天が続き、降水量も例年の2倍となった。7月から9月まで高温・少雨・豪雨等が繰り返される変動の大きい気候が特徴でした。

研修生募集関係

八王子研修農場では現在令和9年度研修生(第8期生)を募集しています。申請受付期間は9月11日から11月6日。詳しい情報はホームページをご覧ください。

各種SNS情報

研修農場では、研修状況等をエックスやフェイスブック、インスタグラム、YouTubeで配信しています。ぜひ「東京農業アカデミー八王子研修農場」と検索してみてください！フォローもよろしくお願いします！

なお、直売情報をいち早くお知らせするためLINE Eでの配信も行っています。友だち登録はトーク検索で「東京農業アカデミー八王子研修農場」を選択又は左下QRコードより可能。



研修農場スナップ

2026年 7~9月



今年は約一ヶ月早かった経営計画支援会議。2年生は一人ずつ自分の就農計画を報告し、関係機関の専門家から様々なアドバイスをいただきました。



蔓が覆うカボチャ畑で収穫したカボチャを通路まで上手く掲げて手渡し(上)。露地トマトの片付け作業(左上)。ハウス抑制トマトの定植に奮闘する2年生(左下)



7月、ヤシ殻培地を利用した養液栽培トマトの定植作業(上)、1年生と指導員でワンショット(右上)、サツマ畑で見つけた害虫類を解説中(右下)



半自動定植機を使ったブロックリーの定植作業



ニンジン、初めての間引作業(上)、東京多摩青果への視察研修(右上下) 調布市農業委員会御一行様の視察(中央下)



進行管理後に理事長、事務局長らに場内視察をいただく(上)、暑くなりハウスの上に遮光ネットを展張(左上)、ナスの夏季せん定(左下)、茨城先進農家視察(中央上)



AIを活用した栽培や経営管理について、3社からAIの現状と、各社システムの概要及び導入後の増収効果等の説明を受けた



卒業生の先輩農家から就農後の苦労や経営状況などを熱心に聴く1年生



9月早々秋ジャガの植え付け(上、右)、サツマイモの試し掘りは、蔓刈り機を通してから、掘り取り鎌で丁寧に手掘り(左2枚)



今年は秋雨前線や台風等の影響で、8月27日～9月30日までの35日間、連続降水観測史上最長記録を更新。ほぼ毎日どこかの時間で雨が降っており、畑で肥培管理や収穫するのも大変だったが、一瞬の晴れ間を生かして、間引きや追肥・培土、収穫等に頑張っていました。

今年は秋分の日(9月23日)に東京国際フォーラムにて、新農人フェアが開催、多くの方に来ていただきありがとうございました。